

BioNavigator

MEDISO Drug Discovery Acceleration Program / 長期伴走型創薬アクセラレーションプログラム

募集要項

応募〆切 | 2025年 8月 28 日(木)

MEDISO事務局 : 株式会社三菱総合研究所
連携パートナー : アステラス製薬株式会社

目次

01 | プログラム概要

02 | プログラム内容

03 | 応募要件・審査方法

04 | 応募方法

05 | 参加規約・留意事項

06 | 問合せ先

(別紙 | Q&A)

創薬シーズの実用化に向けた研究開発の最適化を図る、約3年間の長期伴走支援プログラム

目的・概要

- 本プログラムは、革新的な創薬シーズ(医薬品・再生医療等製品)に対して、その実用化に向けて最長で2028年2月までの長期的な伴走支援を行うことで、数年後にFIH試験まで繋げることを目標としています。
- MEDISOメンター陣やアステラス製薬株式会社、その他のパートナー機関等と連携し、各種メンタリングや製薬企業からのフィードバック機会、SakuLab™-Tsukuba内の研究スペースおよびオフィススペースの無償利用権の提供、海外展開・海外渡航、その他各種支援イベント等を実施します。
- 主な対象としては、基礎研究～治療標的の特定を完了したフェーズの創薬シーズを有し、将来的にベンチャーの起業を目指しているアカデミア所属の研究者又はベンチャー企業を参加対象として想定しています。ただし、これに限らず応募は広く受け付けます。

支援対象

採択数	3 者・社
期間	最長 2028年2月 まで ※年度毎に支援の継続可否を判断するための中間審査有り
属性	アカデミア等に所属する研究者 / ベンチャー
分野	医薬品 / 再生医療等製品
フェーズ	基礎研究～治療標的の特定を完了したフェーズ を主に想定 ※上記に限らず、FIH開始前までのフェーズであれば支援対象
起業状況	起業前の段階から応募可 ※ただし、将来的な起業を目指していること

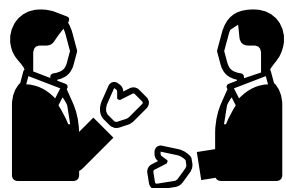
— 連携パートナー



アステラス製薬株式会社

アステラス製薬は、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えることを目指すグローバルライフサイエンス企業です。私たちは、がんや、眼科・泌尿器疾患、免疫、ウィメンズヘルスなどの多様な領域において、革新的な治療法を提供しています。研究開発プログラムを通じて、アンメットメディカルニーズの高い疾患領域において新たなヘルスケアソリューションを開拓しています。

— ソフト支援(メンタリング等)からハード支援(入居支援等)まで、多方面の支援を長期間提供



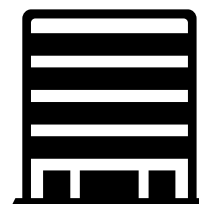
メンタリング支援

チームメンターが定期的なメンタリングを行う長期伴走支援。加えて、各分野の専門家やアステラス製薬の現役社員※によるスポットの相談支援も提供。



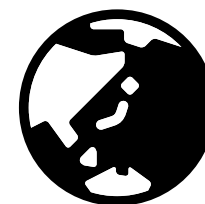
R&Dミーティング

エキスパートアドバイザー(現役の製薬企業所属者)との年1回のグループミーティング。アドバイザーは匿名参加し、本音でフィードバック。



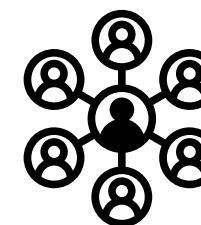
SakuLab™-Tsukuba入居支援

アステラス製薬株式会社のオープンイノベーション施設である SakuLab™-Tsukuba に、プログラム期間中、無償で入居できる支援を提供。※



海外渡航支援

シーズの実用化に向けて、海外展開・海外渡航が必要な場合、最大50万円の渡航費支援や可能な範囲での現地人材による支援を提供。



その他各種支援

その他、参加者のニーズに基づいて、ネットワーキング等の各種支援イベント等を提供。

各プログラムの詳細は次頁以降へ

※ SakuLab™-Tsukubaへの入居者のみに提供する支援です。

— メンタリング支援

「チームメンター」による長期伴走をコアとしたメンタリングを提供します。加えて、チームメンターの専門外の内容に関しては「スポットメンター」が、連携パートナーとして「Astellas Mentoring Team」も参画し、多角的な助言支援を提供します。

チームメンター

- チームメンターは、月1～2回程度の頻度で、長期伴走のメンタリング支援を行います。
- チームメンターとして、ベンチャー支援経験が豊富なMEDISOメンター陣から、参加者のシーズ領域に合う専門家をマッチングします。

スポットメンター

- スポットメンターは、チームメンターの専門範囲外の内容に関して、メンタリング支援を提供します。
- 参加者からの求めに応じて実施し、適切な専門家を時限的に追加でアサインし、1案件につき2回程度のメンタリングを行います。

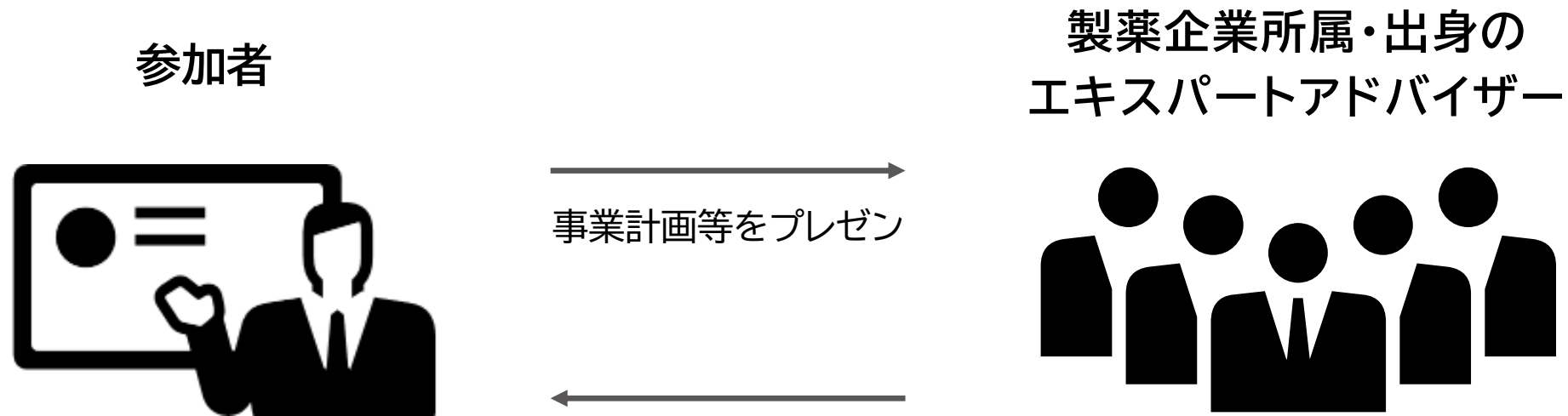
Astellas Mentoring Team

- Astellas Mentoring Teamは、アステラス製薬株式会社に所属する現役社員で組成されています。
- 参加者からの求めに応じて、各分野の専門家による相談対応の支援を提供します（1週間あたり1回30分程度）。

※ Astellas Mentoring Teamによる支援は、SakuLab™-Tsukuba入居者が受けられるサービスです。

— R&Dミーティング

現役の製薬企業所属者(複数企業)を含むエキスパートアドバイザーとのミーティングを行い、医薬品・再生医療等製品の開発目線から、基礎研究と創薬研究の間にあるギャップ等の指摘、事業案への講評・フィードバックを実施します。R&Dミーティングは年に1回実施します。



エキスパートアドバイザーはオンラインで匿名参加することで、
事業進展のための厳しい内容も含む、率直なフィードバックを提供

SakuLab™-Tsukuba入居支援

アステラス製薬株式会社のオープンイノベーション施設である SakuLab™-Tsukuba に、プログラム期間中、無償で入居できる支援を提供します。加えて、SakuLab™-Tsukuba入居者のみに提供される各種支援を受けることができます。

入居形態	ウェットラボ及びオフィス利用 ※ただし、入居時期及び入居形態については、参加者の事情を加味いたします。
設備詳細	こちらのリンク先 をご参照ください。
入居費用に含まれる費用	<ul style="list-style-type: none"> - 1ベンチ(150cm x 75cm)、1デスク(フリーアドレス)、会議室の利用費 - 上下水道、光熱、空調に関する費用 - 一般・オフィス廃棄物処理、警備、環境維持に関する費用 - 鍵付きロッカー(1基)、Wi-Fi環境、コピー複合機の利用費 - その他施設の維持管理費用 ※上記以外の費用は参加者自身にご負担いただきます。
支援期間	本プログラム参加期間中(最長 2028年2月)の入居費用を事務局が負担いたします。
入居方法	入居時期・形態の調整や詳細な手続き等については、採択決定後にご案内いたします。なお、本プログラム開始時に、SakuLab™-Tsukubaの見学会(キックオフイベント)を実施する予定です。



詳細は SakuLab™-Tsukubaウェブサイト([リンク](#))をご参照ください。

海外渡航支援

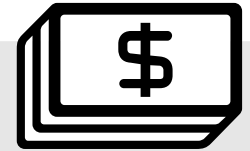
シーズの実用化に向けて、海外展開・渡航が必要な場合、最大50万円の渡航費支援や可能な範囲で現地人材等による支援を提供します。
※ただし、学会参加目的等、本プログラムの趣旨に合致しない渡航は支援対象外となります。

現地人材等による支援



- 参加者のシーズの実用化に向けて、米国等の海外展開・渡航が必要になった場合、可能な範囲で現地人材等による支援を行います。
- 支援内容は、参加者の支援ニーズに基づいて、事務局と協議のうえ決定しますが、参加者のステージに合わせたネットワーキング支援や、海外での臨床試験の実施に関するヒアリング支援等を想定します。

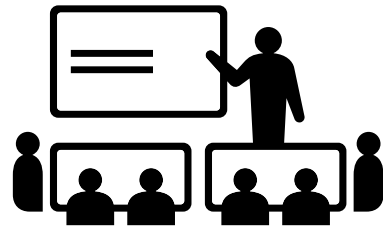
渡航費支援



- 本プログラムの支援を受ける目的で米国等の海外への渡航が発生した場合、渡航支援経費(宿泊費及び交通費(航空券代含む))を支援します。
- 支援は1採択1年度あたり上限 50万円(税込)です。

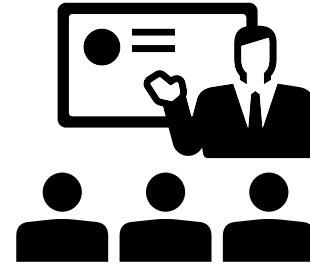
— その他各種支援

その他、参加者のシーズにマッチするネットワーキング等の各種支援イベント等を提供します。



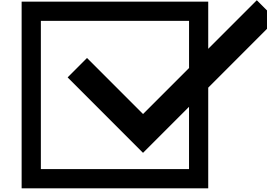
キックオフイベント

- 本プログラムのキックオフイベントをSakuLab™-Tsukubaで実施し、施設見学に加え、参加者同士・アステラス製薬株式会社とのネットワーキング等を提供。



SakuLab™-Tsukubaイベント

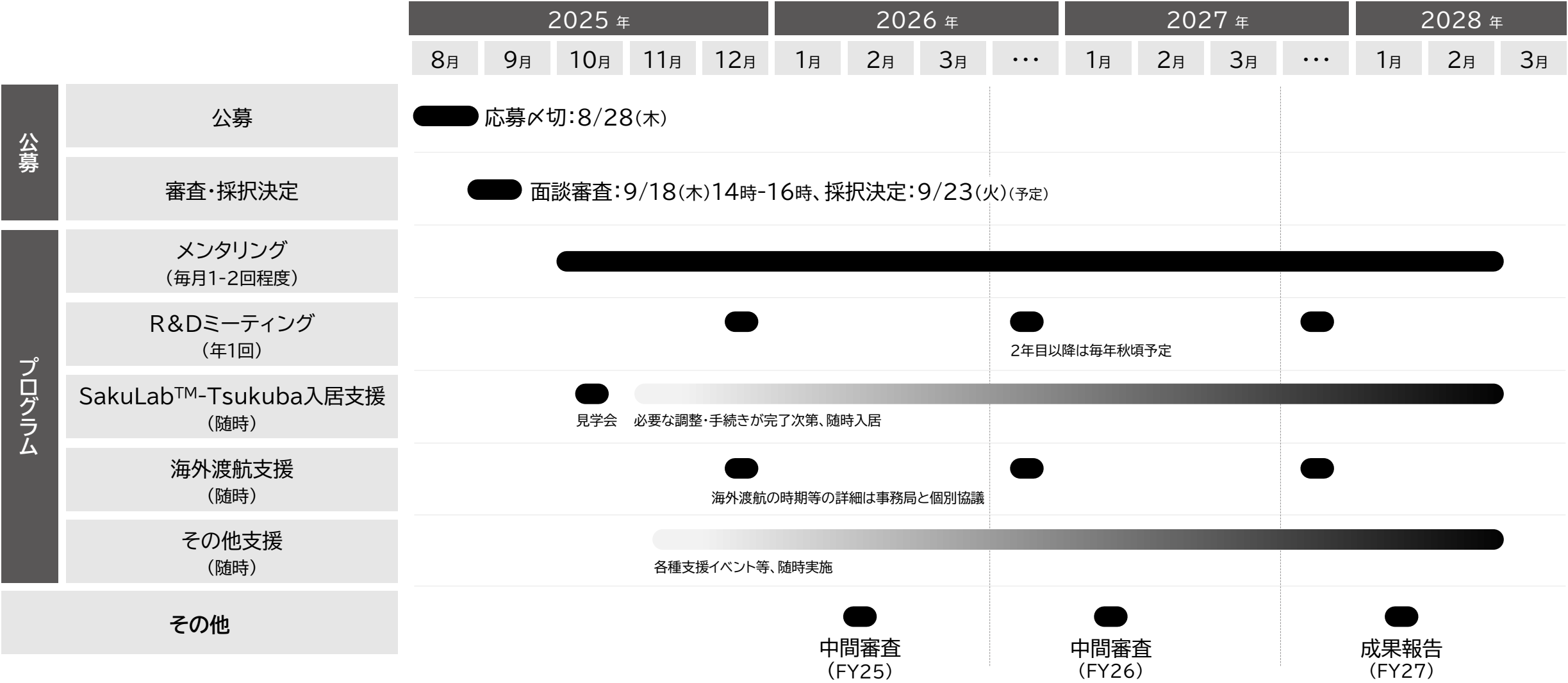
- アステラス株式会社・SakuLab™-Tsukubaが提供する、各種スタートアップ支援、ネットワーキングイベント等への参加機会を提供。



各種情報提供

- MEDISO等の公的機関の支援情報や参加者のシーズに関連する情報等を必要に応じて提供。

スケジュール



※スケジュールは公募時点の予定であり、今後変更となる可能性がございます。

費用負担

事務局負担

- **SakuLab™-Tsukuba入居費**
| 月額約22万円(税込)
 - 支援はプログラム期間中、最長 2028年2月まで
 - 入居費に含まれる費用の詳細はp8「SakuLab™-Tsukuba 入居支援」をご参照ください
- **海外渡航費**
| 1採択1年度あたり 上限 50万円(税込)
 - 宿泊費 及び 交通費(航空券代含む)
※上記金額は日本国内から渡航する場合があります。

参加者負担

- 本プログラム参加に係る、左記の事務局負担以外の費用。
(例)
 - SakuLab™-Tsukubaまでの交通費
 - 現地で開催される各種プログラムに参加するための交通費

— 応募資格を満たす応募者のみを審査対象とし、3者・社を採択予定です

応募資格

本プログラムへの応募者は、応募時点で以下全ての条件を満たすことが求められます。応募資格を満たしていない応募者については審査対象外とします。

- ① 医薬品・再生医療等製品等の製品開発を行う、又はそれを支援する創薬技術等の基盤技術や医療用マテリアル等に関連する製品の開発を行う、ベンチャー企業または、将来的なベンチャーの起業を目指すアカデミア等所属の研究者であること
※ベンチャー企業は、原則として創業後15年以内で、かつ中小企業基本法(昭和38年7月20日法律第154号)第2条に定める中小企業に該当する企業とします
- ② 創薬シーズの実用化・FIH試験実施を真剣に志している、又は取り組んでいること
- ③ 「参加規約」を遵守すること
- ④ 反社会的勢力、あるいはそれに関わる者との関与がないこと

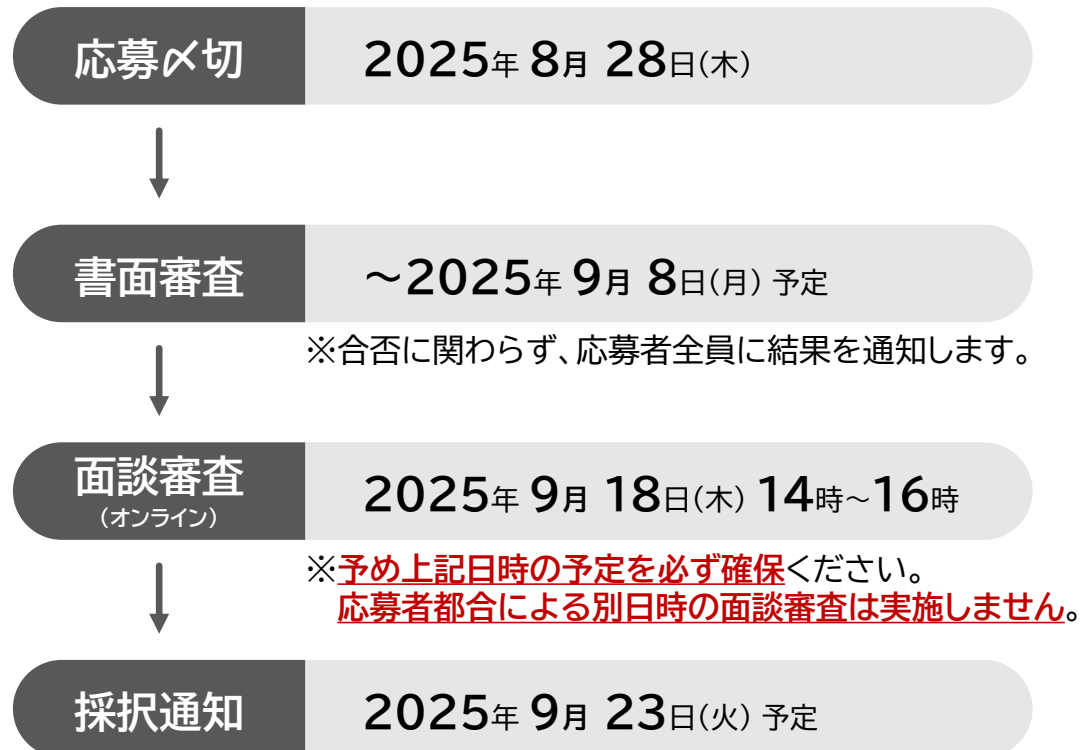
採択予定数

本プログラムの採択予定数は、3者・社 を予定しています。

審査基準のもとに、書面審査・面談審査を通じて採択者を決定します

審査方法・スケジュール

提出資料をもとに、書面審査・面談審査(オンライン)を実施し、参加者を決定します。面談審査は書面審査通過者のみ実施します。



審査基準

主な審査基準は以下の通りです。

- シーズの明確性
(モダリティ、治療標的、治療標的の制御方法 等)
- 技術の優位性
- 成長可能性
- 体制・計画
- プログラム参加の適性

— 応募×切までに ～STEP 4 までを完了してください

STEP 1

〈 提出資料1 〉

エントリーシート
を作成

- 所定のエントリーシートの必須入力欄を全てご記入ください。
- Excel形式でご提出ください。

STEP 2

〈 提出資料2 〉

ピッチデック
を作成

- PowerPoint等でスライドを作成し、PDF形式でご提出ください。
- 15枚以下のスライドとしてください。
- 以下の内容を必ず含めてください。
 - 解決する社会課題・シーズの意義
 - 製品コンセプト(対象疾患・モダリティ・効能・用法・用量・投与形態 等)
 - サイエンスデータ・エビデンス
 - 知的財産
 - 市場性・競合状況・シーズの優位性
 - 開発計画(FIH予定時期等、主要なマイルストーンを明記すること)
 - 事業計画、資金繰り状況
 - 社内体制・社外連携状況

STEP 3

応募フォーム
を送信

- 応募フォーム(こちら)より基本情報を入力の上、送信してください。
- 応募フォームに登録いただいたメールアドレス宛に自動メールが送信されます。

※送信から1時間以上経過しても自動返信メールが届かない場合、まずは迷惑メールフォルダをご確認下さい。迷惑メールフォルダにも無い場合、事務局までお問合せ下さい。

STEP 4

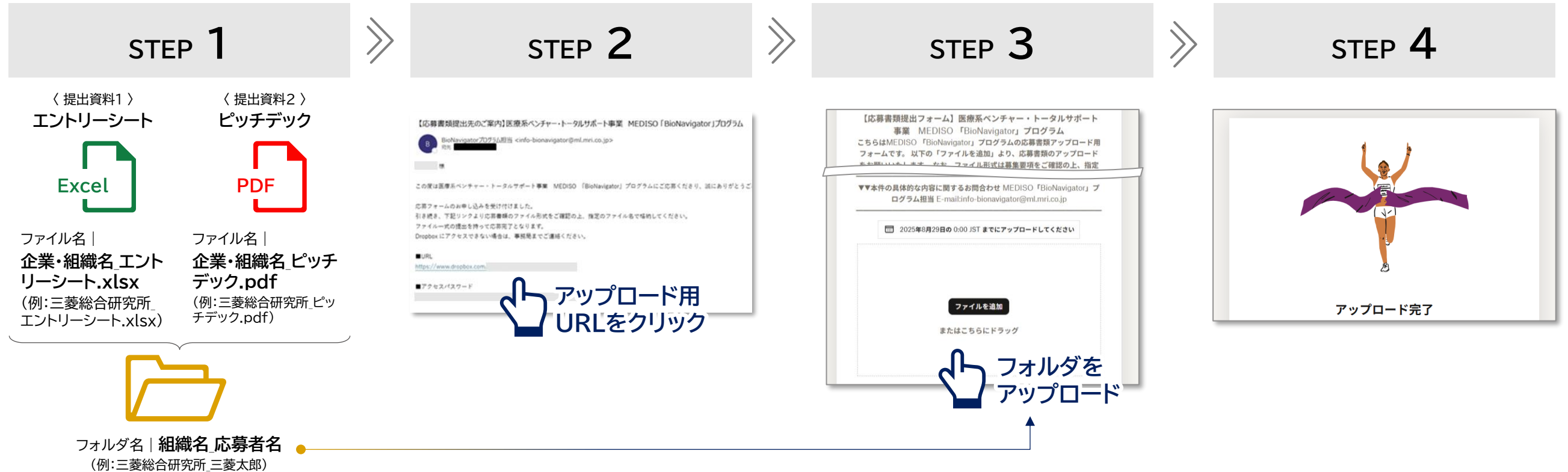
提出資料を
アップロード

- 自動メールを確認し、本文の記載に従ってアップロード用URLから提出書類をアップロードして下さい。
- 提出資料2点を、1つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「企業・組織名 応募者氏名」としたうえで、アップロードして下さい。
- 提出資料のアップロード完了をもって、応募完了となります。

※詳細は次ページをご参照ください。

提出資料の内容は必ずノンコンフィデンシャルな情報としてください。

— 【参考】提出資料のアップロード方法



エントリーシート、ピッチデッキを
1つのフォルダにまとめてください。

応募フォーム提出後に自動送信されるメールにあるアップロード用 URL をクリックし、「アクセスパスワード」を入力してDropboxにアクセスしてください。

「ファイルを追加」をクリックしてフォルダを選択するか、点線の枠の中にフォルダをドラッグして、フォルダをアップロードしてください。

上記画面が表示されたら、アップロード完了です。
審査結果の通知をお待ちください。

参加規約 ※必ず下記を熟読・同意のうえ、本プログラムへご応募ください。

- 参加者は原則として、プログラム期間中に実施・開催されるメンタリングやネットワーキング等の全てのプログラムに参加すること。
- 本プログラムの参加者は、本プログラムの趣旨・目的を十分に理解し、最後まで積極的にプログラムに取り組むとともに、各種提出物・情報提供をはじめとしてプログラムの事業運営に協力すること。
- 本プログラムへの参加は、応募したベンチャー企業に所属する者(アカデミアの場合は研究室所属者および共同研究者、共同創業者(予定を含む))に限る。ただし、事務局の許可がある場合はこの限りではない。なお、プログラムを通して同一の方の参加を推奨する。
- 本プログラム参加者は、本プログラムに参加する者として、企業名(アカデミア所属の場合は大学・研究室名等)及び取組概要等の情報を事務局が公開することを承諾すること。
- 本プログラム期間中及び終了後、本プログラムに関連して事務局又は厚生労働省が実施する各種アンケート調査等に協力すること。
- 本プログラムへの参加に際して知った、事務局や連携機関、他の参加者に関わる情報を外部に漏らさないこと。ただし、公知の情報はこの限りではない。プログラムの参加に当たっては、秘密保持義務等を定めた誓約書を事務局に提出することを求める場合がある。
- 本プログラムは公的な支援プログラムであることを理解し、本プログラムへの参加者となったことにより、事務局やその委託元の厚生労働省および連携機関等の関係者から、参加者の技術の評価や法律上の適合性の担保が行われているかのような標榜を行わないこと。
- プログラム開始後を含め、本プログラムへの参加が不適切である事由が明らかとなった場合、又は本プログラムの円滑な運営に困難をきたす可能性があるとして事務局が判断した場合、事務局の決定に基づいて本プログラムへの参加を中止させることがあることを承諾すること。

留意事項(1/2) ※必ず下記を熟読・同意のうえ、本プログラムへご応募ください。

〔 本公募について 〕

- 所定の様式以外での応募は認められません。また、エントリーシートの必須入力欄に空欄がある、ピッチデックに必要項目が含まれていない等、提出資料に不備がある場合、審査の対象となりません。提出書類に虚偽の内容が確認された場合、応募は無効となります。
- 本プログラムへの応募及び参加にあたって、応募者・参加者が開示又は提出する情報や資料は全てノンコンフィデンシャルな情報に限定して下さい。参加者が事務局および本プログラムの連携パートナー機関へ開示する情報や、本プログラムを通じて一般公開される情報は、参加者の責任の下で開示して下さい。特に、知的財産の取扱いには十分に留意して下さい。
- 同一応募者による複数シーズの応募は認めません。
- 応募締切日時を経過しての応募は、如何なる理由でも受け付けできません。
- 選考状況・選考結果等に関する個別のお問い合わせには、一切お答えできません。

〔 本プログラムについて 〕

- 本プログラムは最長2028年2月までの支援を予定しています。ただし、毎年度、中間審査を実施し、支援継続不可の評価となった場合は支援を中断することがあります。中間審査では、達成すべきマイルストーンを設定のうえ、その達成度を評価する予定です。
- 本プログラムは、応募者の皆様ご自身による事業化や事業展開の可能性を支援することを目的としています。本プログラムへの参加により、事業化の確約や応募者に何らかの利益が生じることを確約したり保証したりするものではありません。
- 本プログラムのスケジュールや内容等は変更になる場合があります。

留意事項(2/2) ※必ず下記を熟読・同意のうえ、本プログラムへご応募ください。

- 本プログラムの運営には万全を期しますが、万一これらに誤り等があり、参加者がこれらを実施すること等により、参加者に何らかの損害や損失が生じた場合でも、本プログラムの主催、運営事務局、およびパートナー機関関係者は一切の責任を負いません。
- 本プログラムに関する一切の費用は、参加者において負担いただきます。
(ただし、一部費用については事務局負担による支援を提供します。詳細はp12「費用負担」をご確認下さい。)

[SakuLabTM-Tsukuba入居支援について]

- SakuLabTM-Tsukubaはアステラス製薬株式会社が提供するサービスであり、実際の入居にあたってはアステラス製薬株式会社が必要とする書類の提出、契約締結等が別途必要となる場合がございます。詳細は本プログラム採択後、入居希望者にご案内いたします。
- 事務局による入居支援を希望する場合、入居にあたっての費用や施設利用に関する取り極め等に関して、事務局と契約を締結いただきます。詳細は本プログラム採択後にご案内いたします。

[海外渡航支援について]

- 現地人材等による支援について、渡航先・時期・支援ニーズ次第では、必ずしも参加者の希望する支援を提供できない場合がございます。
- 海外渡航に必要な渡航書類(旅券(パスポート)、電子渡航認証 等)や航空券の準備・手配は、参加者自身でご対応いただきます。本プログラムの主催、運営事務局、及びパートナー機関関係者は、海外渡航の準備・手配に関して一切の支援を提供いたしません。
- 渡航支援経費は交通費及び宿泊費としての経費であり、その他の費用は参加者自身でご負担ください。
- 渡航支援経費のお支払いに際して、領収書等の必要書類を事務局へ提出いただく場合がございます。

— 本プログラム・公募に関してご質問・ご相談がございましたら、遠慮なくお問合せください

問合せ先

厚生労働省委託
「医療系ベンチャー・トータルサポート事業」事務局
株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

info-bionavigator@ml.mri.co.jp

BioNavigator

MEDISO Drug Discovery Acceleration Program / 長期伴走型創薬アクセラレーションプログラム

— Q&A(1/3)

〔 本プログラムへの応募について 〕

Q. MEDISO等の他のアクセラレーションプログラムに応募又は採択されている場合でも、本プログラムに応募してよいのでしょうか？

- A. はい、MEDISOを含む他のプログラムに応募・採択されている場合でも、本プログラムへご応募いただけます。

Q. 当社では臨床入りする1stパイプラインと、今回応募を希望する2ndパイプラインがあります。この状況でも応募可能でしょうか？

- A. はい、応募シーズ(支援対象)がFIH前であれば、ご応募いただけます。

Q. 3年間のプログラム終了時にFIH試験を開始する必要がありますか？

また、応募段階でFIH試験の目途が立っていることは応募者に求められますか？

- A. いいえ、プログラム終了時に必ずしもFIH試験を開始している又は応募時点で目途が立っている必要はありません。本プログラムは数年後にFIH試験まで繋げることを目標としますが、本プログラムを通じてその目標に向けて着実に研究開発を最適化する(歩みを進める)ことを重視しています。

Q. SakuLabTM-Tsukubaへの入居を希望しない場合でも、本プログラムに応募してもよいのでしょうか？

- A. はい、入居支援を希望しない場合でもご応募いただけます。ただし、SakuLabTM-Tsukubaに入居することで受けられるAstellas Mentoring Teamによるメンタリング等、アステラス製薬株式会社と連携して提供する各種支援は、本長期伴走支援プログラムの重要な要素として考えています。なお、直ちに入居を希望されない場合など、入居時期及び入居形態については参加者の事情を加味いたします。したがって、採択決定後、入居支援の受け方について事務局と相談することが可能です。

※本プログラムへの応募をご検討いただく中で、ご不明点・ご懸念等がございましたら、遠慮なく事務局までお問合せください。

— Q&A(2/3)

〔本プログラムについて〕

Q. メンタリング等の支援をオンラインで受けることは可能でしょうか？

- A. はい、オンラインも可能です。メンタリングの実施形態(オンライン/対面)は、参加者・メンター・事務局で相談のうえ、柔軟に決定いたします。ただし、SakuLabTM-Tsukuba入居者向けの一部支援等については現地のみで実施することもございます。

Q. 本プログラムで開示する情報は全てノンコンフィデンシャルな情報とされていますが、メンター等と秘密保持契約を締結して、コンフィデンシャルな情報まで踏み込んだ支援を受けることは可能でしょうか？

- A. まず、応募時点及び本プログラム開始時点では必ずノンコンフィデンシャルな情報のみとしてください。ただしその後、有効な支援を提供するにあたって参加者の秘密情報の開示が必要不可欠となった場合には、参加者・メンター・事務局で協議のうえ、秘密保持契約を締結することも想定いたします。

Q. 本プログラムに採択された場合、SakuLabTM-Tsukubaへの3年間の入居が確約されるのでしょうか？

- A. いいえ、必ずしも確約されるものではありません。仮に本プログラムへの参加を中止することとなった場合(毎年度の中間審査で支援継続不可となる等)、入居支援を中断することがございます。

Q. 入居支援を受けた場合、SakuLabTM-Tsukubaのオフィススペースにスタッフが常駐する必要はありますか？

- A. いいえ、施設利用は参加者のご判断の下での利用となりますので、入居後にスタッフが常駐することを本プログラムとして求めることはございません。(例として、地方に本社を持つ参加者が、関東の拠点として入居した場合には、常駐ではなく一定の頻度での利用になることが想定されます。)

※本プログラムへの応募をご検討いただく中で、ご不明点・ご懸念等がございましたら、遠慮なく事務局までお問合せください。

— Q&A(3/3)

Q. 入居前にSakuLab™-Tsukubaを見学する機会がありますでしょうか？

- A. はい、あります。本プログラム採択決定後、SakuLab™-Tsukuba現地で本プログラムのキックオフイベントを実施する予定(10月中)であり、その際に施設見学を予定しております。

Q. 本プログラム開始後すぐにSakuLab™-Tsukubaに入居する必要がありますでしょうか？

- A. いいえ、入居時期及び入居形態については、参加者の事情を加味いたします。エントリーシートには現時点の想定として、「希望する入居時期」をご入力ください。詳細な調整方法は採択決定後にご案内いたします。

Q. 海外渡航支援は毎年度1回は必ず支援を受けられるのでしょうか？

- A. いいえ、海外渡航支援は、本プログラムの支援を受ける目的で渡航する必要がある場合に提供する支援であり、参加者のニーズに基づいて事務局との協議のうえで決定するため、毎年度の支援提供を確約するものではありません。

Q. 海外渡航支援を受けない年度があった場合、渡航費支援を翌年度に繰り越すことは可能でしょうか？

- A. いいえ、渡航費支援は1採択1年度あたり上限50万円(税込)で、翌年度に繰り越すことはできません。
(つまり、翌年度の渡航費支援が上限100万円になることはありません。)

※本プログラムへの応募をご検討いただく中で、ご不明点・ご懸念等がございましたら、遠慮なく事務局までお問合せください。